



2011～2012年度 国際ロータリー第2760地区
西尾張分区

分区大会

素晴らしいロータリー
テーマ
COOL ROTARY



「パリのカフェ」一宮北RC 石黒三雄



ここの中を見つめよう 博愛を広げるために

◆とき◆
2012年3月3日(土)
◆ところ◆
名鉄ニューグランドホテル
◆ホスト◆
一宮北ロータリークラブ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011~2012年度 国際ロータリー第2760地区
西尾張分区テーマ

素晴らしいロータリー COOL ROTARY

ロータリーの綱領

Object of Rotary

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、
これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある。

1. 奉仕を機会として知り合いを広めること。
2. 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。
あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。
そしてロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、
その業務を品位あらしめること。
3. ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に
常に奉仕の理想を適用すること。
4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交に
よって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

四つのテスト

THE FOUR-WAY TEST

言行はこれに照らしてから
Of the things we think, say or do

1. 真実かどうか
Is it the TRUTH ?
2. みんなに公平か
Is it FAIR to all concerned ?
3. 好意と友情を深めるか
Will it build GOOD WILL and BETTER FRIENDSHIPS ?
4. みんなのためになるかどうか
Will it be BENEFICIAL to all concerned ?

分区大会プログラム

会 場：名鉄ニューグランドホテル7F

【第一部】

16:00 式 典

(敬称略)

司 会 原 田 敬 生

点 鐘

西尾張分区ガバナー補佐 加 藤 勉

国歌斉唱

伴 奏「ルヴァロア弦楽四重奏団」

ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」

物故会員に黙祷

開会の言葉

分区大会実行委員長 石 黒 三 雄

歓迎の言葉

一宮北RC会長 矢 田 政 弘

特別出席者紹介

分区幹事 山 内 國 雄

参加クラブ紹介

分区幹事 山 内 國 雄

主催者挨拶

西尾張分区ガバナー補佐 加 藤 勉

16:30 9 クラブ発表

一宮RC、津島RC、尾西RC、稲沢RC、あまRC、
名古屋清須RC、尾張中央RC、一宮中央RC、一宮北RC

17:35 講 評

西尾張分区ガバナー補佐 加 藤 勉

次年度ガバナー補佐紹介

西尾張分区ガバナー補佐 加 藤 勉

次年度ガバナー補佐挨拶

西尾張分区次年度ガバナー補佐 服 部 孝 根

次年度ホストクラブ紹介

西尾張分区ガバナー補佐 加 藤 勉

次年度ホストクラブ会長挨拶

稲沢RC次年度会長 児 島 秀 光

閉会の言葉

一宮北RC次年度会長 森 正 志

17:50 点 鐘

西尾張分区ガバナー補佐 加 藤 勉

休憩・会場移動

【第二部】

18:00 懇親会

司 会 原 田 敬 生

オープニング

演 奏「ルヴァロア弦楽四重奏団」

ボーカル 森 薫(ソプラノ)

ボーカル 能 勢 健 司(バリトン)

開宴の言葉

西尾張分区ガバナー補佐 加 藤 勉

18:15 乾 杯

国際ロータリー第2760地区ガバナー 松 前 憲 典

(食事：立食パーティー)

BGM「ルヴァロア弦楽四重奏団」

19:10 お礼の言葉

分区大会実行副委員長 黒 木 義 公

ロータリーソング「手に手つないで」

伴 奏「ルヴァロア弦楽四重奏団」

19:15 閉 宴

特別出席者

ガバナー	一	松前憲典	一宮中央
地区幹事		長谷川正己	一宮中央
地区副幹事		小島三男	一宮中央
パストガバナー	一	神戸政治	あま
パストガバナー		豊島徳三	一宮北
パストガバナー補佐		大森克孝	一宮北
パストガバナー補佐		田口茂利平	稻沢
パストガバナー補佐		大森一人	一宮
パストガバナー補佐		山内登	尾西
パストガバナー補佐		高木輝和	津島
次年度ガバナー補佐		服部孝根	稻沢
次年度ホストクラブ会長		児島秀光	稻沢

出席クラブ及び出席者数

一宮ロータリークラブ	会長	日野正美
津島ロータリークラブ	会長	寺田晏章
尾西ロータリークラブ	会長	森信一朗
稲沢ロータリークラブ	会長	池田邦雄
あまロータリークラブ	会長	鈴木正徳
名古屋清須ロータリークラブ	会長	中村禪
尾張中央ロータリークラブ	会長	沖野満
一宮中央ロータリークラブ	会長	森榮
一宮北ロータリークラブ	会長	矢田政弘

一宮ロータリークラブ	89名	名古屋清須ロータリークラブ	33名
津島ロータリークラブ	72名	尾張中央ロータリークラブ	35名
尾西ロータリークラブ	22名	一宮中央ロータリークラブ	47名
稲沢ロータリークラブ	55名	一宮北ロータリークラブ	40名
あまロータリークラブ	80名	合計	473名

(2012年1月1日現在)

物故者

謹んでご冥福をお祈りいたします

あまロータリークラブ	中島整君
あまロータリークラブ	鈴木孝則君
名古屋清須ロータリークラブ	成田博君
津島ロータリークラブ	伊藤文也君
名古屋清須ロータリークラブ	藤井忠君
一宮ロータリークラブ	飯田清春君
あまロータリークラブ	渡辺一弘君

2011年3月5日から2012年2月22日までお亡くなりになられた方

【第一部】式典





開会の言葉



分区大会実行委員長
石 黒 三 雄

西尾張分区9クラブの多くの会員の皆様をお迎えして、分区大会が開催できたことを心より感謝申し上げます。

加藤ガバナー補佐の素晴らしいロータリー「クールロータリー」をテーマにして、会員一同努力してまいりました。

至らない点も多くあるかと思いますが、ロータリーの友情に免じて、御容赦頂きますよう御願い申し上げます。

この大会が、有意義に又、会員相互の親睦をより深めることに、少しでも役に立つ大会であることを祈つて、開会の御挨拶とさせて頂きます。

歓迎の言葉

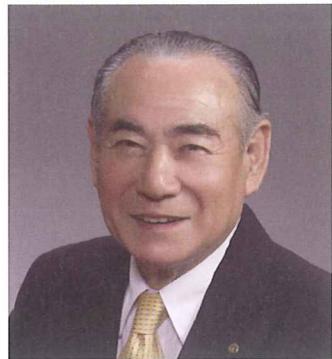


一宮北ロータリークラブ会長
矢 田 政 弘

国際ロータリー第2760地区西尾張分区大会に参加していただき誠にありがとうございます。実り多き大会となるよう、ホストクラブ一丸となって準備を重ねて参りました。

大会では、分区各クラブの貴重で有益な活動の状況を発表していただきます。その結果、ロータリーの原点を再確認するとともに、参加クラブのさらなる飛躍に資する情報を共有できるものと確信いたしております。また、参加者の皆さんには会員相互の親睦を通じて友情の絆を強める交流の場として十分に活用していただきたいと存じます。本大会が西尾張分区9クラブの発展の一助となることを祈念して、歓迎のご挨拶とさせていただきます。

ガバナーごあいさつ



国際ロータリー第2760地区ガバナー

松 前 憲 典

西尾張分区の皆様におかれましては、益々
ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、2760地区には8分区あります。各分
区がIMを開催していただき、研修と親睦でロー
タリーの活性化を進めて下さることに敬意
を表します。

1月はロータリー理解推進月間でありました。
ロータリーを楽しむには、ロータリーを知る
ことが必要であります。「親睦」と「奉仕」のバ
ランスのとれた活動は、ロータリーを理解す
ることから始まると言われています。

さて、ロータリーは奉仕の精神から成り立つ
ております。廣畠富雄RI第2700地区パストガ
バナーは「ロータリーの心」をESSで表現され
ております。EはEnjoy(楽しむ)毎週の例会で
地域の職業を代表する会員同士が、信頼感を
高めながら楽しむ。一つ目のSはStudy(学ぶ)ロー
タリーから人生哲学、職業倫理を学び、多く
の会員から学び、自己研鑽し、人間性を高める。
二つ目のSはService(奉仕する)思いやりの心
で、人の役に立つ行動を、というロータリー
の奉仕をごく自然に、自分の生活の中に活かし、
世のため、人のために尽くす。これがロータリー
の真の姿であると言われております。
ESS(Enjoy、Study、Service)とは私たちロー
タリー会員が互いに磨き合い、楽しみ、学び、
奉仕することが人間の真の満足を充たす道
になると思います。

片山パストガバナーは、ロータリーの目的
は奉仕であり、奉仕は親睦から生まれ、親睦
は出席から始まると述べられております。

○ロータリーの目的と2本柱を高く掲げ
る。・奉仕と親睦を大切に・ロータリアン自
身の幅広い人間形成、人格陶冶、自己研鑽。

○ロータリーでは奉仕の理想を掲げており
ます。

○奉仕の理想とは、他人のことを思いやり、
他人に役立とうとする思いやりの気持ちを
実行に移す。

【ロータリーの根幹】

①ロータリーとは、奉仕に従事し、超我の奉
仕を実践することであります。②奉仕の五大
部門(クラブ・職業・社会・国際・新世代)を中
心に奉仕のバランスとロータリーの目的を
達成することであります。③ロータリー財団
を強化し、会員増強に努める。

【6名の著名なロータリアン】

①ポール・ハリス②ドナルド・カーター③ベ
ンジャミン・フランク・コリンズ④アーサー・
フレデリック・シェルドン⑤ハーバート・テー
ラー⑥アーチC・クランフ

皆様と共に勉強していきたいと思ってお
ります。奉仕の実践、晩年は社会に貢献する
ことで、人生に一輪の花を咲かせようでは
ありませんか。

主催者挨拶



西尾張分区ガバナー補佐
加 藤 勉

我が愛するロータリーの基本は「奉仕と親睦である」と常々思っております。

人と人とのつながり、心と心の絆、出会いふれあいを大切に、本年度分区大会のテーマは「素晴らしいロータリー COOL ROTARY」と題して、西尾張分区 9 クラブの代表からテーマに添って「思い」を発表して頂きます。

松前ガバナーが常々、いよいよ R.C にも変革の時が来た。

時代の変化にいかに対応していくか？

そろそろ色々な意味で改革改善が必要では無いか？

でもロータリーって良いね！！素晴らしい仲間がいて、I.Mに来て良かったよ。

そんな「ササヤキ」が聞こえてくる様な分区大会。

今後のクラブ運営に参考にして頂ければ幸いです。

分区大会9クラブ発表



一宮ロータリークラブ幹事
佐々木 久 直

ロータリーの絆

平成23年11月28日(月)に現職の飯田会長が亡くなりました。海外での出来事であり、帰国や葬儀の日程も寸前まで決まらず、皆様へのお知らせ等の不行き届きをお詫び申し上げます。誠に申し訳ありませんでした。28日早朝に急死の第1報が届き、ご遺体の帰国も3日～10日掛かるとのことでした。事務局は問い合わせの電話対応でパニック状態です。翌29日に今後の対策を協議するため日野前会長、森副会長、長谷川SAAと定款や細則をチェックし、細則第3条第3節の理事欠員の補填、定款第10条第5節Cの会長の資格に関わる要件などから、現状では後任の権利を有するのが前会長のみと確認し、同時に就任のお願いを致しました。翌30日に松前ガバナーと長谷川地区幹事から前会長が就任のご意向が届き、午後3時に星野さんと酒井さんのご協力で、日野前会長に会長就任への推薦をご承諾して頂きました。翌12月1日(木)は、年次総会にて次年度理事役員選出の予定です。次週8日はクリスマス家族会となっています。その時点でもご遺体の帰国日も葬儀の日程もまだ決まらず、木曜日の年次総会前に臨時総会を開催し、

日野会長の就任を決議する事となりました。また翌週の年忘れ家族会を休会とし、青木親睦委員長がキャンセルの交渉を同時に進めました。今回の事態を顧みますと、今後の課題として現職会長欠員の場合に対応できるように、会長エレクト研修セミナーや地区協議会への副会長の出席など、会長資格を複数の理事が持つ必要を痛感しました。私個人も、会社では12月末決算と年末賞与の件で会長と社員に怒られ、家庭では27日からホストで交換留学生を受け入れ、葬儀で妻が風邪をひくなど大変な状況になりました。そんな中、ロータリーの理事の皆さんや大先輩の方々が助けていただき、葬儀から新会長の選出と、次年度理事役員選出を無事終えることが出来ました。故飯田会長との「絆」は大変残念ですが、理事や会員の皆さんのご恩は忘れられません。「ロータリーの絆」に感謝申し上げ発表とさせていただきます。

分区大会9クラブ発表



津島ロータリークラブ副会長
鈴木吉男

ENJOY ROTARY

父親がロータリアンでしたので、当然のように42歳でロータリーに入らせて致きました。

当時、ミスター・ロータリアンと言われる先輩方がたくさんいて大変堅苦しく、多くのご指摘(ご指導)を受けました。初めて委員長をお受けした時には『手続要覧』をくまなく読み、ロータリーを勉強させて致きました。

入会後8年目に地区青少年交換委員会に出向する機会をいただき、R I 国際大会がアルゼンチンのブエノスアイレスで行われるというので、こんな機会でないと行けないと思い連れていってもらいました。

大会3日前から青少年交換委員会のプレコンベンションが開かれていて、世界各地の青少年交換のメンバーが集って、連絡研究会での青少年交換についての議論を熱く討論する場に出くわし、目からうろこの衝撃を受けました。また多くのロータリアンが夫婦でロータリーを楽しんでいる姿を見て、それ以後昨年度のアメリカ・ニューオリンズでのR I 国際大会まで11回、欠かさず夫婦で参加するようになりました。嫁さん(妻)にも、少

しはロータリーが何であるかを理解してもらえたのではないかと思っています。

7年間の青少年交換委員会の後、地区国際奉仕委員会に出向させてもらっているおかげで世界の多くの地区の人々と議論をする機会があり、日本以外のロータリーが何を指向しているかを知ることができ、自分自身のロータリーの考え方ができたように思います。

ロータリーでは、何かボランティアをしたいと思えば色々な機会があると思います。どうぞ皆さん手をあげてください。楽しいロータリーライフの道が開けるかもしれません。

分区大会9クラブ発表



尾西ロータリークラブ会長
森 信一郎

我が「尾西ロータリークラブ」を想う

我が『尾西ロータリークラブ』は、西に広大な木曽川が流れ、夏には濃尾花火大会が行なわれ、中央には三岸節子美術館があり、環境に恵まれたやさしい地域にあります。ただ、近年、地場産業の不振からか、クラブメンバーが減少し、少人数でのクラブ運営になっております。その為、3年前からC L Pを導入、活動を進めております。

少人数には、少人数の良さも有るといいますか、人数が少ないゆえに、例会を欠席すると目立つので出席率が上がっており、また、会員同士の関わりや理解も互いに深く、まとまりある充実した活動が臨機応援にでき、楽しい時間を共有しております。

例会は、通常の例会を行いつつ、年6回の夜間例会、2回の職場例会を計画実行し、親睦をはかっております。

会員増強については、一人入会されると、一人退会するという苦しい状況ですが、今後とも努力していきたいと思います。

研修会で学びましたロータリーとは「心と

体と金の奉仕」、そして「最も多く奉仕する人は、最も多く報われる」の精神でロータリー活動を行なっていきたいと思います。

最後に、私自身、ロータリーですばらしい仲間に出会った事であり、その仲間と一緒に奉仕・親睦活動が行なえる事が大事な宝になっております。

今後とも、尾西ロータリークラブにご指導ご協力頂きますようお願い申し上げます。

分区大会9クラブ発表



稲沢ロータリークラブ幹事
樋 田 文 裕

クール ロータリー

例会は、国府宮神社で開催を致しております。おかげさまで、その都度落ち着いた気持ちで例会に臨むことができます。当クラブの特徴は、本年度の池田会長の方針である「楽しく」の一言で表すことができると思います。

基本である例会の出席と合わせ、親睦から生まれた信頼感や連帯感そして新しい仲間との出会いから育まれる真の友情こそがまさに「Cool」そのものです。

それに加え本年度は、ロータリーライフの大きな支えでもある「家族」にスポットを合わせ、秋・春の家族会とクリスマス家族会はもちろん、10月に開催した名古屋証券取引所での例会や2月に開催した名古屋市科学館のプラネタリウムの鑑賞会などにもご夫人方に参加していただきました。4月には「ゆったり例会」と称してブルーノートでの例会の開催も家族の方の参加を予定しております。

稲沢RCは来年度、節目の創立50周年を迎えることとなります。凛として歩んできた50

年の誇りを胸に、更なる50年を流れの早いこの時代に地域において存在感を示すことのできるクラブとして成熟していくことが与えられた使命として、今後も積極的に活動を行ってまいります。

分区大会9クラブ発表



あまロータリークラブ会長
鈴木正徳

レッツ シンク ポジティブ エンジョイ スマート ライフ LET'S THINK POSITIVE, ENJOY SMART LIFE

皆さん、こんにちは。只今ご紹介を頂きました、
あまロータリークラブ会長の鈴木正徳です。

私は本年度の我がクラブのテーマとして、「レッツシンクポジティブ、エンジョイスマートライフ」サブタイトルとして「ゆとりらっくす」を掲げてやつて参りました。このテーマについてお話をします。要約すれば、前向きに考え、賢い人生を楽しみましょう。そして、ゆとりとリラックスを併せて、時間に追われず時間を追いかけるくらいの気持ちを持つことを思い、「ゆとりらっくす」という造語を作り、サブタイトルとしました。

私の思いと意味と考え方をお話します。人生、世の中の色々な事が起きます。辛い事、悲しい事、悔しい事、嬉しい事。何でも自分自身を鍛える為に起こると考え、気持ちをプラスに持つことを意味します。例えば、小さな事故や交通違反があれば 大きな事故の警鐘と思います。恋人に振られたら、新たな恋の始まりと考え、辛ければ、楽しみの為と思うこと。全て自分を奮い立たせるように、自分自身に自信をもつようになる事です。ある小話をします。アメリカ大統領のビル・クリントン

とヒラリー・クリントンが夏の休暇、ヒラリーの地元に帰りました。二人でドライブをし、同級生が経営しているガソリンスタンドに寄って楽しく会話をしました。戻った彼女に「君も僕と一緒にならずに彼と結婚していたら、今は幸せに田舎暮らしができていたね」と少し嫉妬交じりに話したら、ヒラリーはなんと答えたでしょう？ 彼女は「ビル、あなたでなく彼が大統領になっていたでしょう」と言い放ったそうです。それぐらい自分に自信を持つ事が大事だと思います。

大事なそして大切な人生です。我々は素晴らしい出会いに会っているかもしれません。しかし、その出会いに気づかない人も沢山います。このロータリークラブでの出会いを大切に、毎日を楽しくスマートに生きて行きましょうを意味します。

分区大会9クラブ発表



名古屋清須ロータリークラブ会長

中 村 祐

素晴らしいロータリー

R Cを外部に聞きますと地域の企業家で地元に奉仕する紳士の集まりと云うイメージだそうです。

R Cを中から見ますと定款が解りづらい所があります。

定款には最初に目的が有りますが目的でなく綱領となっています。横綱の綱の「綱領」とは方針と言う意味です。横綱の横の「横領」と文字は似ていても意味は大違います。

R Cの解りづらさは横文字文化と縦文字文化の違いが大きいと思います。

加えて各会員個性が強い方が多い様です。

価値観の異なる人の集まりです。

その為ロータリーは多数決ではありません。要するに声のおおきな人の意見が通るようです。

が逆に云った人がやらないと誰もやってくれない

そこで各R Cには夫々の文化が生まれました。そして不連続の連続の中にもルールがあり。わかりづらいですね。

R Cの目的は道徳ある職業自体が奉仕。そして知り合いを増やし地域にも国際的にも奉仕しようとする団体です。

ロータリソングの「奉仕の理想」は現実が厳しいからこそ「現実の奉仕」でなく「理想の奉仕」の鼓吹となっているのであります。

分区大会9クラブ発表



尾張中央ロータリークラブ副会長
瀧 本 守

「素晴らしいロータリー」に寄せて

私たち尾張中央ロータリークラブは1983年(昭和58年)西春日井ロータリークラブ、現在の名古屋清洲ロータリークラブさんから分離独立いたしまして、その年の12月22日、尾張中央ロータリークラブを創立、翌1984年(昭和59年1月30日)RI加盟承認を頂き、晴れて5月6日認証伝達式が行われました。そして今日、29年を経過しいよいよ来年は創立30周年の節目を迎えるわけでございます。その折には又いろいろお世話になりますが、宜しくお願ひ申し上げます。

さてクラブの成り立ちはと申しますと、先ず、親クラブの西春日井ロータリークラブさんから背中を押されて、このクラブを立ち上げた先輩諸兄のご苦労を讃えなければなりません。新しいクラブを創立させると言うことは、大変なエネルギーが必要です。当時、核となって奔走された方々は大半お亡くなりになつたり、すでに退会されておられますが、今尚現役で当クラブの先導を果たしていただいております8名のチャーターメンバーの方々に、私たちは常に敬意を表しているし下さい。

創立時、クラブの目標として、地域に根ざした奉仕活動、そしてロータリーがロータリーたる所以である職業奉仕、そして自らに課せる倫理、道徳観それらを実践しようとするクラブの姿勢は、瞬く間にテリトリー内において話題となり、ロータリーが地域における存在感を發揮するに到った訳です。当時、西春町、師勝町併せても高々人口6万9千そこそこで、名古屋市のベッドタウンとして発展途上のこの街には大企業など在りません、会員は、ほとんど地域に根ざした中小の会社の社長さん、それが又ロータリーが最も大切にしている、テリトリー内での細やかな奉仕活動の充実に繋がつたのでございます。

この様に当クラブの礎は、先輩ロータリアンの頑なまでに守ってこられたロータリーの原点、そして素晴らしい仲間との出会いを大切にする気風は今でも変わりありません。

ただ最近別のところで、ロータリーのあり方を問う議論が話題になっております。私たちが杞憂する事の一つに、拡大を続ける財団、対照的に縮小していく職業奉仕。道徳律なんてとっくの昔に消されている現状。はたしてこれでいいのか、奉仕の在り方を、目に見えない成果より、目に見える成果を求めてシフトしていくような現象が気になります。

本日のテーマ「素晴らしいロータリー」を、「素晴らしいロータリーに戻そう！」とするなら、私に提案があります。2005年、第2700地区ガバナーを務められた、広畑富雄さんの著書「ロータリーの心と原点」基本にかえろう。を紹介させていただきますと、その巻頭に、「ロータリーの創立者、ポール・ハリス、アーサー・フレデリック・シェルドン、日本の戦前のガバナーの方たちが、ロータリーの理念をどのように捉え、何を目指したのか、それを探ってみたい。そこでこう仰って見えます。

ロータリーは慈善団体ではありません。発展途上国の援助が目的の団体でもありません。金集め、人集めが目的の団体でもありません。ロータリーの本質には素晴らしい魅力がある。それを確かめ、再発見するためにも」と述べておられます。是非、再発見を試みては如何でしょうか。

以上、私の発表といたします。ありがとうございました。

分区大会9クラブ発表



一宮中央ロータリークラブ会長
森 榮

クールロータリーを目指して「ロータリーを家族と共に、地域と共に」

家族と共に

当クラブの特色であります夜間例会は、会員の親睦を深めるのに大変役立っています。特に毎月恒例の持ち出し例会は出席者も多く、楽しく過ごす時間はあっという間に過ぎていきます。毎例会終了後、それぞれの同好会？が深夜にまで及ぶことも珍しくないようです。

その会員を快く送り出してくれる家族に対して、感謝を表しロータリーへの理解を深めていただきため、本年度は3回の家族例会を企画いたしました。8月の「納涼花火家族例会」、12月の「クリスマス家族例会」、そして4月犬山ロータリークラブと共に催の「花見家族例会」です。すでに終了した家族例会には大勢の家族が参加され、会員と一緒に楽しいひと時を過ごしていただきました。

地域と共に

ロータリーの地域貢献をめざし、本年度は2つの事業を企画いたしました。その一つは、9月に市内の小学生を招集し、新体育館で開催された「新世代デー・ミニサッカー大会」です。なかば当クラ

ブの継続事業の一つとなっていますが、私たちロータリアンにとっても、小学生と過ごすとても和やかな一日となりました。

他の一つは、7月から始まった交通安全推進事業「138スマートドライバー」です。市内全域に優しさを示す白地にピンクの旗が翻り、交通安全と共に一宮中央ロータリークラブの名前を広報してくれています。市民に思いやりのある運転を心がけていただくために、この事業は1年を通じて展開されます。

分区大会9クラブ発表



一宮北ロータリークラブ会長
矢 田 政 弘

これぞ一宮北ロータリー

1. 特色ある同好会

一宮北ロータリークラブは、平成25年3月15日に創立50周年を迎えます。会員数は平成24年1月1日現在40名で、ちょうど一台の大型バスで移動できる人数です。こうしたまとまりのよい人数の会員をさらに結びつけていっているのが、特色ある同好会の存在です。

具体的には美術鑑賞同好会が挙げられます。この同好会では、単に美術館で美術作品を見るだけではなく、鑑賞する作品に深い知識を有している専門家にお願いして、制作された背景や見所の解説を受けています。参会者は、通り一遍の知識で終わらず、作品を深く理解し感銘を受けることができます。

また、美術鑑賞だけではなく、美術館の近くにある知る人ぞ知るグルメスポットを訪れ、地元の食材を生かした料理を賞味するのです。こうした鑑賞会のあった後の例会ではニコボックスへの投稿が一挙に増えることになります。

2. 一宮北ロータリーナンバーワン物 ニコボックス紹介

ニコボックスと言えば、当クラブの例会にマイクアップされた方は誰でも驚かれると思います。ニコボックス紹介が一風変わっているというか、

型破りなのです。それは、ニコボックスの紹介者が単なる読み上げだけではなく、何らかのコメントや紹介者なりの解釈を付け加えるのです。そのコメントには、ブラックジョーク的な内容や駄洒落なども含まれますが、例会に集まった会員の笑いを誘い、例会でのメインである卓話への導入として大変役立っています。

他クラブの皆さんも是非、当クラブの例会においてになって、どんなものか直に聞いていただきたいと思います。

3. 会員拡大 男性会員1名・女性会員2名入会

本年の松前ガバナーの基本方針である会員増強に対応して、昨年9月1日、当クラブは伊藤秀雄地区会員増強リーダーを例会行使にお招きし、増強の手法やポイントを教えていただきました。この例会で得たノウハウを駆使して、本年1月1日現在、女性2名・男性1名の増強を実現しました。次年度50周年を目指して、さらなる増強に努める所存です。

次年度ガバナー補佐挨拶



西尾張分区次年度ガバナー補佐
服 部 孝 根

次年度ガバナー補佐を努めさせていただくことになりました。もとより浅学非才でございます、皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

次年度の千田毅ガバナーは幾つかの重点目標を掲げておられます。その中の1つに分区間の交流を推進するように申されております。

そこで私はまず分区内の交流と活性化を促進するため、「育もう分区の友情」のテーマを掲げ、IMは勿論のこと久しぶりにゴルフ大会を開催したいと思います。

是非皆様ご賛同頂いて沢山の方に参加して顶くことを、くれぐれもお願い申し上げる次第であります。以上簡単ですがご挨拶とさせて頂きます。

次年度ホストクラブ会長挨拶



稲沢ロータリークラブ会長エレクト
児島秀光

次年度の西尾張分区のIMとゴルフ大会は稲沢ロータリークラブがホストを勤めさせていただきます。我々の稲沢RCより出向をしていただきます服部孝根ガバナー補佐の意向に沿った内容で、分区内の会員が一同に会して楽しく交流をしていただける大会とするように稲沢クラブ会員一同知恵を絞って企画してゆくつもりであります。

現時点でご案内できるのは、

1. 分区大会は、2013年の3月2日(土)

名鉄ニューグランドホテル

2. ゴルフ大会は、2012年の10月24日(水)

ナガシマカントリークラブ

で開催するつもりでありますので分区の皆様のご参加とご協力をよろしくお願い申し上げます。

閉会の言葉



一宮北ロータリークラブ次年度会長
森 正 志

本日は、お忙しいにもかかわらず、かくも多くのロータリアンの皆様に参加していただき、本当に有難うございました。

ホストクラブの一宮北ロータリークラブは、会員数も少なくやや会員の年齢も高いので、いたらない所もたくさんあったかと思いますが、そこはロータリーの友情に免じてお許しください。

尚、我が一宮北ロータリーは、来年度50周年を迎えます。

50周年周年事業では、皆様に色々お世話になると思いますので、この場をお借りしてお願い申し上げます。

本日は、本当にありがとうございました。

演奏者紹介

ルヴァロア弦楽四重奏団



森 下 麻 奈 (バイオリン)

松 木 奈津子 (バイオリン)

原 田 実 里 (ビオラ)

岩 田 彩 子 (チェロ)

1999年結成。自主公演をはじめ、依頼公演で様々な場所で演奏会を開く。

産婦人科でのマタニティーコンサート、カフェコンサートなど、より身近に弦楽四重奏を感じてもらえるよう、愛知県を中心に活動している。

リゾナーレ室内楽セミナーにて「緑の風奨励賞」受賞。



森 薫 (ソプラノ)

長崎県出身。武蔵野音楽大学声楽学科卒業。同大学院音楽研究科声楽専攻修了。

二期会オペラスタジオ第43期修了。

九州を中心に数多くのコンサートに出演。



能勢 健司 (バリトン)

名古屋市出身。愛知県立芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学音楽研究科修士課程修了。同大学院オペラ補助員を1年間務めた後、ドイツ・マンハイムにて2年間の研鑽を積む。

在学中より宗教曲のソリストとして多くの合唱団、オーケストラと共に演奏。

【第二部】懇親会





分区大会実行委員会組織図

ガバナー補佐	加藤 勉	
分区幹事	山内國雄	一宮北ロータリークラブ
		会長 矢田政弘
実行委員長	石黒三雄	幹事 金森智博
実行副委員長	黒木義公	
実行副委員長	藤原峯忠	

総務委員会	金森智博	則武克彦	寺澤 実
【会計】	大河内圭一		
【監査】	岩田全功		
【救急】	日野康司	村瀬圭吾	
登録委員会	角田隆幸	竹内彰	佐々木顕彰 山本基
会場委員会	小澤正明	三輪茂富	丹羽喜代次
	福西久敏	森田進	
接待委員会	森正志	菱川弘樹	新井貴美子 山本小夜美
記録委員会	森通保	吉田哲夫	船越孝 渡辺元男
司会	原田敬生	片山英孝	黒木義公 藤原峯忠
顧問	大森克孝	瀧義孝	豊島徳三
	中北武男	林岡成松	原幹彦
	水野憲司	矢野尚彦	





2011～2012年度
国際ロータリー第2760地区
西尾張分区

分区大会

